

魂とゆきふれ

第31回

津軽三味線全日本金木大会

開催日：2019年5月4日・5日（2日間）

会場：金木公民館大ホール

申込：津軽三味線全日本金木大会実行委員会

津軽三味線会館内 / 〒037-0202 青森県五所川原市金木町朝日山 189-3

TEL 0173-54-1616

FAX 0173-54-1023

メール syamisen@kanagi-gc.net

URL <http://www.kanagi-gc.net>



第30回大会

仁太坊賞 鈴木利枝（大分県）

主催 津軽三味線全日本金木大会実行委員会

主管 NPO法人かなぎ元気倶楽部

共催 津軽三味線歴史文化研究所

全日本津軽三味線友の会

後援 五所川原市

五所川原市教育委員会

東奥日報社／陸奥新報社

NHK 青森放送局／エフエム青森／RAB 青森放送

ATV 青森テレビ／ABA 青森朝日放送

五所川原市観光協会／五所川原商工会議所

金木商工会／金木あすなろ商店会

第31回 津軽三味線全日本金木大会開催のご案内

津軽三味線会館 館長 伊藤一弘

平成30年も間もなく暮れようとしています。今年も全国の津軽三味線愛好家の皆様には大変お世話になり、30回記念大会を大過なく終えられたことに心から感謝申し上げます。

さて、平成の世と共に歩んだ本大会ですが、来年4月30日に天皇陛下が退位されるにあたり、新元号が制定され、30回の節目を刻んだ本大会は、新元号と共に新しい時代に船出することになります。

先日、在位最後の天皇誕生日にあたり陛下が記者会見で述べられた「平成が戦争のない時代として終わろうとしていることに、心から安堵しています」というお言葉が強く心に残っています。日本の平和と国民の安寧を願い、国民に寄り添い、苦楽を共にしようという姿に胸を打たれ、改めて「時代」という言葉の重みを考えました。

津軽三味線は始祖「神原の仁太坊」の誕生から見ますと、幕末の安政、万延、文久、元治、慶応、明治、大正、昭和、平成と続きますが、平和と思える時代が平成だけなのは確かです。思えば昭和40年代に「明治は遠くなりにはけり」という言葉が盛んに使われていた記憶があります。「降る雪や明治は遠くなりにはけり」の名句を引用したのですが、来る年が昭和で94年となれば、「降る雪や昭和は遠くなりにはけり」がふさわしいと、ふと寂しい気持ちになります。

さて、津軽三味線の歴史解明者であり、本大会の名誉大会長である大條和雄先生はこう述べておられます。

津軽三味線が果たして健全な道を歩んでいるのだろうかという漫然とした不安が津軽三味線界に広がっているようです。今は津軽三味線全国大会と銘を打った大会が各地で開催されるようになりました。それは出場選手が増えたから大会が増えたのではありませんでした。何の世界にも流行、廃りはあります。けれども津軽三味線は本来日本の民俗音楽なのであって、流行音楽のような流行・廃りはありません。津軽三味線には音楽としての原理があります。その根っこをわきまえないと方向性の定まらない不安と言う低迷状態が醸し出されるのではないのでしょうか。歴史は未来学でもありますから、津軽三味線の歴史を顧みて、原点に還ってみた時、そこから方向性が拓けるのではないのでしょうか。その方向性を見出すのが本大会です。

ちなみに、大條和雄先生は始祖秋元仁太郎がこの世を去った昭和3年のお生まれです。津軽三味線の未来のために、これまでに培った金木大会らしさを失わず、この後も本大会の維持発展に努める所存です。これからも変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、第31回津軽三味線全日本金木大会へ奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

平成30年 師走

審査委員会からのお知らせ(重要)

個人の部について

津軽三味線全日本金木大会は、一貫して「人真似でない自分の三味線を演奏すること」を求め、国籍、流派、門下にかかわりのない個性を評価してきました。この姿勢が若手の登竜門とされる本大会審査の特徴であり、津軽三味線ブームに一定の役割を果たしたと自負しております。

しかし、近年は芸能界における津軽三味線の多様なポテンシャルばかりが露出し、津軽民謡それぞれの曲調をないがしろにする傾向が目立ちます。審査委員会では毎回このことが議論されており、少なくとも津軽地方で行われる大会の審査では共通した見解であろうかと思えます。ただし、個性的な聞かせどころはこれまで通り十分に尊重します。

また、本大会個人B級は他大会のA級で優勝できるほどのハイレベルな実力者がひしめいています。これまでのB級入賞者については、いつまでもこのクラスに固執しないで、A級に果敢にチャレンジして欲しいというのが審査委員会からの要望です。

団体戦のエントリー曲目について

(決定事項)

団体戦のエントリー曲はオリジナル曲ではなく、津軽三味線の曲弾き合奏に限定することにいたしました。

よって、エントリー曲名は何かしらの「津軽民謡」にさせていただきます。

(理由)

これまでオリジナルを評価してきたことが間違いなのではなく、津軽三味線の可能性追求に必要な役割を果たしたため、25回大会を契機に原点回帰をしようと審査委員会の意見が一致したことによります。

1. このごろのオリジナル傾向があまりに津軽とかけ離れていて、とても津軽三味線とは思えない異次元さを感じる。
2. 津軽三味線大会であれば津軽民謡の合奏を審査するのが本道である。
3. オリジナル曲は自分たちの発表会で披露すればよいのではないのでしょうか。

以上、審査委員会の意思と変更事項をお知らせします。

第3 1回記念 津軽三味線全日本金木大会 開催要項

- 1 日時 2019年5月4・5日の2日間 午前9時より開始
- 2 場所 青森県五所川原市金木町 金木公民館大ホール(TEL 0173-53-3581)
- 3 種目

<個人の部>	定数(人)
(1) 小学生以下の部	30
(2) 中高生の部	30
(3) シニアの部(60歳以上)	30
(4) 一般の部C級(習得年数5年未満60歳未満)	30
(5) 一般の部B級(習得年数5年以上60歳未満)	30
(6) 一般の部A級(習得年数を問わず)	なし
<団体の部>	定数(団体)
(1) 小学生以下の部(演奏者3人以上の団体)	6
(2) 中高生の部(演奏者3人以上の団体)	6
(3) 一般Cグループ(3人以上5人以下の団体)	6
(4) 一般Bグループ(6人以上10人以下の団体)	6
(5) 一般Aグループ(11人以上の団体)	6
注意事項 ・団体の申込人数については大会当日の増員は認めません。(減員は可能)流動的な場合は、あらかじめフルメンバーでお申込下さい。受付期間内での増減の変更は可能ですのでお早めにご相談下さい。 ・ <u>団体へエントリーする際は一人一部門一グループ</u> とさせていただきます。 (掛け持ちの場合はグループが失格となります) ・ <u>団体のエントリー曲名はオリジナル曲名を不可</u> とします。 (何かしらの津軽民謡であること)	

- 4 参加資格と定数
 国籍・流派・門下・所属等は問いません。
 地域振興のために参加希望者には可能な範囲で対応します。
- 5 演奏規定(個人の部 小学生以下、中高生、シニア、一般B・C級)
 (団体の部 全部門)
- (1) 演奏曲目
 <個人の部>
 自身が得意とする「津軽民謡の曲弾き(メドレー可)」を一曲
 <団体の部>
 「津軽民謡の曲弾き合奏(メドレー可)」を一曲
- (2) 演奏時間
 <個人の部> 3分以内
 <団体の部> 4分以内

(3) 出場順番

主催者において厳正に抽選します(抽選はパソコンソフトで行います)。
大会出場者には、4月中旬にプログラムを郵送いたします。

6 演奏規定(個人の部 一般A級)

トーナメント方式による勝ち抜き戦です。予選トーナメントと決勝トーナメントがあり、出場人数によっては敗者復活戦もあります。対戦相手はステージ上で抽選で決定します。

(1) 演奏曲目

- ・津軽五大民謡(じょんから・よされ・あいや・小原・三下り)の中からラウンドごとに課題曲を発表します。
各ラウンドの直前に客席からの抽選で課題曲を決定します(重複無し)。
- ・新節・旧節・中節・新旧節の選択については自由です。

(2) 出場順番

- ・当日は12時までには受付を済ませて下さい。
ノーシードの選手は、予選トーナメントから対戦を行います。参加人数によっては1回戦をシードされる場合もあります。
- ・前回ベスト8の選手は1回戦がシードされ、2回戦から対戦を行います。
対戦相手は抽選によって決定します。

(3) 審査方法

- ・一対一の曲弾き対決とし、審査員による勝敗の結果を電光掲示いたします。
- ・トーナメントの進行状況は大型スクリーンで放映いたします。

7 演奏規定(その他)

ロビーや待機場所は音出し禁止エリアです。出番待ちの方や客席から毎年苦情がありますので、決め事を守らない場合は、減点になる可能性があります。

8 申込み方法

(1) 申込先

津軽三味線全日本金木大会実行委員会
津軽三味線会館内
〒037-0202 青森県五所川原市金木町朝日山189-3
電話 0173-54-1616 FAX 0173-54-1023

- ・メールでの申し込みも可能です。
メールアドレス syamisen@kanagi-gc.net
- ・要項・申込書はホームページでも公開いたします。
ホームページアドレス <http://www.kanagi-gc.net>

(2) 参加料(記念品を含む)

個人出場者・・・・・・・・・・3,600円
団体出場者・・ 1人につき 2,100円

(3) 申込み方法

現金書留または銀行振込でお申込み下さい。
銀行振込をご利用の方は、速やかに申込用紙をメールまたはFAXで送信してください。

○振込口座 青い森信用金庫 金木支店 カギデン
 普通預金 0166148
カールシャミセンニホカキタイジツコウイカイ
 津軽三味線全日本金木大会実行委員会

○現金書留ご利用の方

受領証が必要な方は、申込用紙に○をつけてください。プログラム発送時に同封いたします。

- (4) 申込み期間 2019年2月1日(金)～3月22日(金)
- ・メ切厳守(プログラム作成が遅れる為)。期間外ならびに当日申込はお受けできません。
 - ・申込用紙送付と入金確認済みで、申し込み完了とします。
 - ・キャンセルの際の申込金は、上記期間内であれば返金可能です(手数料差引)。
- (5) 大会日程・競技順序・予定時刻
 定数から見た時間配分です。**後日プログラムにてお知らせしますのでご了承ください。**

<1日目/5月4日> エントリー数により、時間は大きく変動します。

開会式	8時50分
1.個人小学生以下	9時00分～9時40分頃
2.個人中高生	9時45分～10時40分頃
3.団体小学生以下	10時45分～10時55分頃
4.団体中高生	11時00分～11時40分頃
5.個人シニア	12時30分～14時20分頃
6.個人一般C級	14時30分～17時00分頃

<2日目/5月5日> エントリー数により、時間は大きく変動します。

開始挨拶ほか	8時50分
1.個人一般B級	9時00分～10時30分頃
2.団体一般Cグループ	10時45分～11時05分頃
3.団体一般Bグループ	11時15分～11時35分頃
4.団体一般Aグループ	11時45分～12時05分頃
5.個人一般A級	13時30分～17時30分頃
仁太坊賞受賞者再演	18時00分頃終了

(6) 当日受付時間

午前8時00分から随時受け付けております。

各部門の予定時刻を参照の上、遅滞なくお願いします。

予定時間はあくまで目安です。

9 表 彰

<個人の部>

各級共通・特別賞を含む8人まで表彰されます。

- 1位から3位まで・・・賞状・トロフィーまたは楯・賞金
- 入賞・・・・・・・・・・賞状
- 大條和雄賞（小学生以下の部を除く）／2名・・・賞状・楯
- 参加賞／参加者全員

仁太坊(にたぼう)賞／個人一般の部A級優勝

津軽三味線の始祖、仁太坊にちなむ賞です。受賞者は「仁太坊まつり」において、ゲスト奏者として演奏していただきます。（9月予定）

白川軍八郎賞／個人一般の部A級準優勝

金木町不動林出身、仁太坊最後の弟子、津軽三味線の神様と称される白川軍八郎にちなむ賞です。

黒川桃太郎賞／個人一般の部A級3位（2名）

金木町嘉瀬出身、始祖仁太坊の弟子、津軽民謡中興の祖、通称「嘉瀬の桃」にちなむ賞です。

大條和雄賞

津軽三味線ルーツ解明者、大條和雄氏にちなむ賞です。

個人各級(小学生以下の部を除く)の中からオープンで選出されます。

<団体の部>

各グループ共通で3組まで表彰されます。

- 1位から3位まで・・・賞状・トロフィー・賞金
- 入賞・・・・・・・・・・賞状
- 参加賞／参加者全員

10 審査委員（予定）

審査委員長	澤田勝仁	(津軽三味線奏者)
審査委員	阿保敏秋	(随筆家)
	太田清美	(太田流津軽民踊手踊会 家元)
	工藤信悟	(ギタリスト)
	小川準栄	(三絃小川会会主)
	三浦博史	(東奥日報社 五所川原支局長)
	佐藤靖男	(陸奥新報社 五所川原支社長)

11 先達の追善供養のお知らせ／5月3日開催

1. 時 間 午前11時～
2. 場 所 川倉賽の河原地蔵尊
3. 参加料 無料

参加される方は、現地集合となります。